



『パンと昭和』 小泉和子 編 (河出書房新社)

2017年2月28日刊行予定 定価 本体1,850円(税別)

一見豊かになったようにみえる日本の食卓も、戦後アメリカの小麦戦略によって大きな代価を支払いつつ、変貌をとげてきた。その実態に迫る決定版！ (書籍帯より)

主な目次

第一章 パンの始まり

居留地で始まったパン作り

パンは軍隊が推進

パン食はハイカラ

パンの嘗めもの——バターとジャム

第二章 代用食になったパン

代用食の自家製パン

第三章 食糧援助で始まったパン食

アメリカの食糧援助と小麦戦略

パン食奨励の旋風

学校給食のコッペパン

農村への普及

第四章 広がるパン食

大規模パンメーカーの誕生

名古屋のモーニングサービス

パンの日本化——調理パン

